

平成30年度第2回 認知症地域支援体制推進

全国合同セミナー

本人と家族が地域でよりよく生きていける支援体制を
地域で共に築いていくために

オリエンテーション



2018年 10月 4日、5日

認知症介護研究・研修東京センター（進行：研究部長 永田 久美子）

ようこそ！ 全国合同セミナーへ

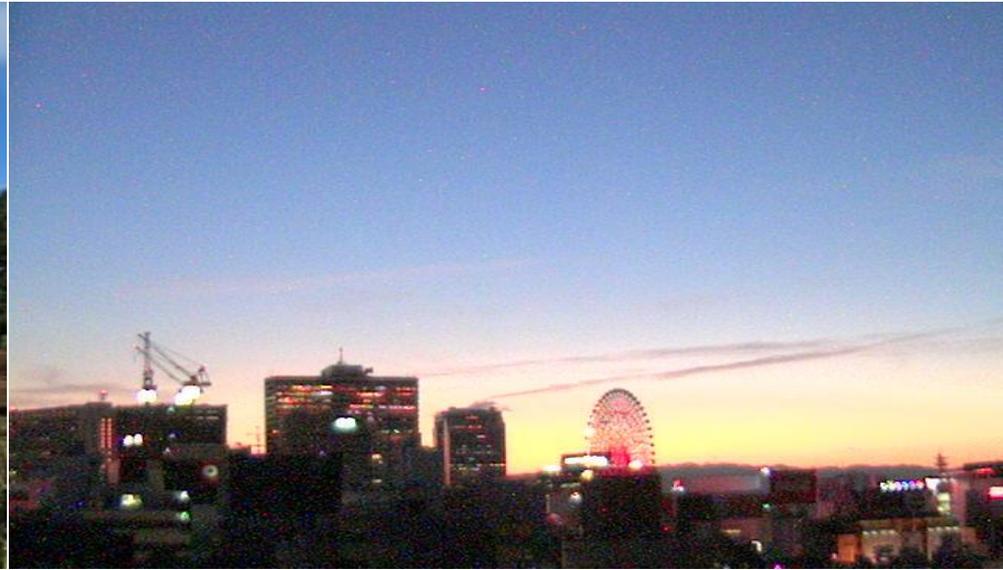


吉祥寺・井之頭公園

認知症になっても

住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるように。

北海道から沖縄まで、すべての市区町村で。



平成30年度第2回合同セミナー参加者概要

平成30年9月28日時点

区分	参加自治体数	参加人数
都道府県	5	5人
市区町村 (地域包括支援センター、事業者等含む)	102 * 28都道府県から	200人
合計	-	205人

加えて、関東信越厚生局地域包括ケア推進課

- *「参加者一覧(都道府県)」参照
- *「1日目グループ一覧」参照

認知症地域支援体制推進 全国合同セミナーの目的

全国の自治体が、新オレンジプランに基づき各自自治体としての認知症施策を円滑に企画・運営し、地域支援体制を着実・持続発展的に築いていくことを促進する。

* 地元で暮らす認知症の本人と家族が、初期から最期までよりよく暮らしていける支援体制を地域で共に築いていくために。

合同セミナーで

国施策の
・方向性、
・最新情報
を知る。

全国各地の
取組を参考に
施策担当者・
関係者が、
自分の役割と
進め方のポイ
ントを確認する。

全国の担当者等との
情報・異見交換を通じ
自地域の今後の
あり方や施策・取組の
補強策等を具体的に
検討する

自地域で

* 情報共有
* 対話・討議
方向性確認
具体的な改良
* 効果的取組みの
推進を強化・加速

他の自治体・地域の人とのネットワーキング

めざす姿の実現にむけて、力を結集しよう！

本人：初期から最期まで、自分らしく、地域でよりよく暮らし続ける



地域（立場・世代を超えて）：つながりあい、支え合い、共によりよく生きる

市 区 町 村

固有の風土・文化・多様な社会資源を最大限に活かしながら
地域支援体制を**持続発展的**に築いていく

都 道 府 県

各市区町村の施策・取組みを推進（ナビゲーション、環境整備・バックアップ）

国：厚労省、関係者省庁

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）等